



雪で造ったすべり台で遊ぶ園児ら

めずらしい雪に大はしゃぎ 明石市との交流事業「雪のプレゼント」

交流協定を結んでいる明石市との交流事業として12月11日、八千高原スキー場で造った約30メートルの人工雪が明石市のさわの保育園と沢池幼稚園に届けられました。

保育園に到着後、職員らが長さ約10メートルの雪のすべり台を設営。園児らは、普段見る機会のない雪を目の当たりにし、ソリで滑ったり雪を触ったりして雪の感触を楽しみました。

同10日には、市内スキー場への誘客キャンペーン「雪を持ってきたよ」（氷ノ山鉢伏観光協会・養父市商工会青年部主催）がマイカル明石で行われ、市内のスキー場の魅力をPRしました。



適度な降雪と安全を祈願

氷ノ山・八千高原・東鉢伏で冬山開き

氷ノ山・鉢伏山一帯の冬山開きが12月1日、氷ノ山国際スキー場ゲレンデで行われ、観光関係者ら約50人が出席しました。はじめに神事が行われ、出席者は氷ノ山に向かって今冬の安全と適度な降雪を祈願。引き続き、氷ノ山鉢伏観光協会の田中昇寿会長らによって記念のくす玉割りとテープカットが行われました。最後に、点火されたトーチがワイヤーによってゲレンデを滑り降り、やぐらに火が灯され閉式となりました。

この日は、氷ノ山で4回目の冠雪を記録。今後の降雪により、多くの観光交流人が訪れることが期待されます。



氷ノ山をバックに、くす玉を割る出席者ら

数々の力作を表彰

養父こども書道・絵画コンクール受賞者決まる

第17回養父こども書道・絵画コンクール表彰式が12月9日、市立ビバホールで開催されました。同コンクールは、養父地域の5歳児から中学生を対象に行われているもので、174点の書道と311点の絵画が寄せられました。

厳正な審査の結果、特別賞4点、特選20点、入選50点が選ばれました。特別賞受賞者は次のとおりです。（敬称略）

【書道の部】■市長賞＝中山史菜（建屋小1年）■議長賞＝円山翔吾（養父中3年）■教育長賞＝岡本真紀（浅野小4年）■養父公民館長賞＝小野山望美（浅野小3年）【絵画の部】■市長賞＝三木良真（浅野小3年）■議長賞＝足立絵理子（広谷小6年）■教育長賞＝中島将昭（浅野小1年）■養父公民館長賞＝田中誓空（養父幼稚園）



市長から表彰を受ける子どもたち